

明石市江井島周辺を中心とした藻場造成「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト

■プロジェクトの概要

2001年に兵庫県明石市の谷ハ木地先の自生アマモ場に隣接した被度0区域で播種シートによるアマモ場造成(25m²)を実施し、10年以上も安定したアマモ場を創出しました。以後、同市江井島海岸と谷ハ木地先のアマモ場を中心に、CO₂吸収源の回復や拡大を目指した活動をしています。

【主要な活動】

- ◆アマモ場の種子による自然な維持拡大を手助けするため、アマモ種子の採取と保管、播種（播種シート工法、アマモパック法）を実施しています。
- ◆一般の参加者を募り、アマモ場内外の小型地引網による生息生物調査を四季ごとに実施して、アマモ場の生物多様性に資する役割を確認し、データを蓄積するとともに、アマモ場の大切さを知る啓蒙活動としています。
- ◆小学生にアマモ場を含む海の豊かさを実感してもらうため、アマモ場の沖からの地引網を環境学習「子供達を中心とした海のゆりかご教室」として実施しています。
- ◆地引網で捕獲された植食性魚類（アイゴ等）は除去して、アマモ場の保全活動の一つとしています。
- ◆水産資源の回復やアマモ場を含む海域環境の保全のため、海底ゴミ・浮遊ゴミの回収、砂浜・港の清掃等を実施しています。
- ◆アマモ場のCO₂吸収量把握のための調査の高度化にも努めています。

■プロジェクトの特徴・PRポイント

海域環境の保全や水産資源の回復を目指して、漁業協同組合と民間企業、NPO法人の3者が連携しつつも、それぞれが出来ることを主体的に実施しています。今後も3者の連携を強く保ち、地引網によるアマモ場の生物調査時に植食性魚類の駆除に努めるほか、アマモの播種活動を継続して、CO₂吸収源としてのブルーカーボン生態系の回復や拡大を図ります。



■プロジェクト実施者

江井ヶ島漁業協同組合

東洋建設株式会社大阪本店

特定非営利活動法人アマモ種子バンク